整形外科で緊急入院された方へ

患者氏名　　様

治療方針：病状に応じた治療法を行います。

手術療法となった場合は、手術内容に応じて入院計画も変更します。

	入院時	1日目	2日目	3日目
検査 治療 処置	救急外来や整形外科外来で必要な検査 （血液検査･レントゲン･超音波検査など） ●入院後ネームバンド（患者誤認防止バンド）を装着します ●トイレでの排泄ができない場合は膀胱留置カテーテル（おしっこの管）を挿入します ●血栓予防のための弾性ストッキングの使用やフットポンプを使用します ●既往歴に応じて他科の診察を受診することがあります	●治療方針が決定したら説明に伺います ●治療のために必要な検査などを行いますが、日程や検査内容などは実施前に説明します ●食事摂取ができない場合は点滴を行います		
薬剤	普段のまれているお薬は、お薬手帳とともに持参してください 持参のお薬（かかりつけ医からのお薬）は主治医・担当医の確認を受けて内服継続とします お薬によっては、主治医より休薬にされることもあります			
安静度	●痛みに応じてベッドアップできます 肢に痛みがあるときは患部側には体重をかけないようにします 可能な範囲で痛みを抑えて安全に車いすへ移れるようにお手伝いします ●主治医が決定した場合は、主治医の指示に応じて介助を行います			●下 ●
排泄	症状に応じて排泄のお手伝いを行います			
清潔	患部の安静を守りながら、傷のない場合はシャワーができます カテーテル（おしっこの管）が入っている場合は毎日陰部の洗浄を行います			膀胱留置
食事	必要時、水飲みテストを行い、飲み込みの具合で食事の形態を選択します。 既往歴に応じて特別食を提供します	治療方針決定後は、主治医・麻酔科医の指示にしたがい、絶食になることがあります →		
説明 指導 教育	●入院中に必要な物品などの説明を行います ●各種入院時に必要な書類の提出をお願いします ●介護保険の有無や、サービスの利用の確認をします ●退院後の生活のために自宅の環境も確認します ●必要時、地域との連携を行います	●手術療法となった場合は、手術についての説明を行います ●医師からの説明の際には日を改めてご家族に来院していただきます		